

創刊号

広報 三条市消防団

- ◆ 三条市消防団が再編成によって新たにスタート（下図参照、P4・P5）
- ◆ 三条市に学生消防隊発足（P3）
- ◆ お役立ち情報（P7）

新三条市消防団管轄 各方面隊図



御祝辞



三条市長 滝沢 亮

三条市消防団広報紙の創刊おめでとうござい
ます。

消防団の皆様には、日々生業を持ちながら、地
域の防災活動に昼夜を分かたず献身的に御尽力い
ただき、心より感謝申し上げます。また、その活動
を支えてくださっております御家族の皆様に対し
ましても、厚く御礼申し上げます。

さて、近年、全国各地で異常気象などにより地
域住民の生命、財産を脅かす災害が多数発生して
おります。当市においても平成十六年七月、平成二
十三年七月と二度にわたり、今まで経験したこと
のない豪雨に見舞われ、大きな被害が発生しまし
たが、消防団の皆様による懸命な活動により被害
を最小限に抑えることができました。

三条市消防団は、当市の誇りであり、市民の安
心安全な生活に欠くことのできない存在でありま
す。この度の創刊により、市民の皆様には消防団活動
について広く知っていただく機会となることを期
待しております。

今後、「自らの地域は自らで守る」ため、地域
防災の要として、より一層の御尽力をお願いいた
しまして、御挨拶とさせていただきます。



三条市消防長 升岡 謙治

三条市消防団広報紙の創刊おめでとうござい
ます。

三条市消防団は、諸橋消防団長を中心に、崇高な
郷土愛の精神に基づき、数多くの業績を積み重ねて
いただいていることは誠に心強く存じ、御労苦に対
し深く感謝申し上げます。

この度、広報紙を創刊されたことで、地域の皆様
の消防団への理解が一層深まるものと心から期待
しております。

さて、全国各地で水害、土石流災害などが毎年発
生し、尊い人命や貴重な財産が失われております。
当市においても、このような災害が発生した場合に
備え、危機管理体制の更なる充実を図り、万が一の
災害発生時には、地域の皆様、そして消防団の皆様
と一丸となって、対応して行かなければならないと
考えております。

消防防災体制の充実強化に向け、消防本部とい
ましては、消防団とより密接な連携体制を確立で
きるよう努めるとともに、団員の適切な処遇の在り
方について検討を進めてまいります。

最後に、三条市消防団のますますの御活躍を祈念
いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

御挨拶



三条市消防団長 諸橋 一徳

令和二年四月一日付けで三条市消防団長に就任しました。市長
より辞令を受け、大変身の引き締まる思いと重責を感じていま
す。微力ではございますが、伝統ある三条市消防団の団長として
誠心誠意大任を果たす所存でございます。

当市消防団は、令和二年度から再編統合（三方面隊から六方面
隊）し、新体制でスタートをした直後に、新型コロナウイルス感
染症拡大により、計画していた行事が全て中止となりましたが、
資器材の点検を始め、その中でも出来る事、予防啓発活動を少人
数で実施して来しました。我々消防団は「自分たちの地域は自分た
ちで守る」という郷土愛護精神と、市民の「安全・安心」を掲げ
活動をしています。主に災害現場で活動を行う団員のほか、後方
支援、救護活動を行う女性消防隊、令和三年六月に発足しました
学生消防隊が加わり、あらゆる災害に備えた活動を行っていま
す。しかしながら、近年の社会情勢の変化により、消防団の組織
においても、団員数の減少等の課題に直面しております。また、
ここ近年に各地で発生している自然災害は、大規模化しており、
消防団組織だけでは対応が厳しいものがあり、地域の自主防災組
織や市民と密接な連携体制が必要と考えております。

消防団を取り巻く現状は厳しいものがありますが、更に強固な
組織であるためにも、消防団に課せられた使命、育成指導等に取
り組んで行きたいと考えております。

今後とも、皆様の御理解と御支援を賜りますようよろしくお願
いを申し上げます、御挨拶いたします。

学生消防隊

愛称 *fifi*

が発足しました!!



学生消防隊 隊長 菊田 大亮

皆さん、こんにちは。この度、三条市消防団学生消防隊長になりました、三条市立大学一年の菊田大亮です。

私が学生消防隊員になろうと思ったきっかけは、十一年前の東日本大震災です。当時、最前線で活躍する消防、警察、自衛隊の方々を目の当たりにして「カッコいい」と純粋に思い、大きくなったなら人の役に立つことをしたいと思うようになり、初めの一步として入隊しました。

六月に結成された真新しい隊ですが、今後は同世代を中心に活動を広げていけたらと思っています。また、三条市民の方々に頼られる存在になれるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。



学生消防隊 隊員 立石 賢哉

今年学生消防隊、愛称「fifi」に入隊した立石賢哉です。

私がなぜ学生消防隊に入隊したかと言うと、大学生になり自分の住む地域の中で、何か活動をしたいと考えたからです。また、大学生になる前までは特に何かしら活動を積極的にはやらず、あまり物事を経験して来なかったので、多くの経験を積んでおきたいと考えたので学生消防隊に入りました。

学生消防隊についてのこれからの抱負としては、応急手当普及員資格を活かすことと、様々なことを学んで、学生消防隊が地域で頼られるようになるように頑張りたいと思います。



6方面隊体制スタート!!

嵐北方面隊



令和二年度から三条市消防団再編により、方面隊長に就任いたしました高野です。嵐北方面隊は旧東分団、旧西分団、旧北分団、この三分団を統合し、新たに東分団と北西分団になりました。東分団は三部体制四十五名、北西分団は四部体制六十二名、私を含め百八名で活動しています。過去には管轄区域で大きな火災が幾度となく発生しております。市民の皆様におかれましては今一度火の用心をお願いします。

新型コロナウイルス感染防止のため、三条市消防団の行事はほぼ中止ですが、各部毎月のポンプの手入れ、各装備の点検は確実に実施しております。火災発生時は、いち早く現場に駆けつけ市民の生命財産を守るため、団員一同一生懸命頑張ります。ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

嵐北方面隊長 高野 孝雄

嵐南方面隊



私たち嵐南方面隊は、第一中学校区を管轄とする南分団四十八名と、本成寺中学校区を管轄とする本成寺分団百七名、本部員二名の計百五十七名にて、一万九百三十七世帯・人口二千七百十六名(八月三十一日現在の嵐南地区を受け持ち、消防本部南分遣所を拠点として活動しています。

嵐南地域の一員として、地域住民との連携をとりながら、消火活動だけでなく、防災活動にも取り組み、住民のみなさん一人一人の顔が見えるような活動をめざしております。

今後も、嵐南地域の安全・安心を目標に頑張っておりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

嵐南方面隊長 内山 元雄

井栗大崎方面隊



この度、消防団再編に伴い、井栗分団・大崎分団の二つの分団を合わせ、井栗大崎方面隊となり方面隊長を拝命いたしました。

平常時の活動は、災害に備えて積載車、小型ポンプなどの装備品の点検、管轄区域の広報活動のほか、より良い活動ができるよう会議、訓練を行っています。

近年、コロナ禍であり、思うように活動ができない状況ではありますが、工夫をして有効な災害活動ができるよう努めています。

全国では、近年、自然災害により土砂災害などが発生しておりますが、我々消防団は地域防災の要として、有事の際には、真っ先に現場に駆け付け、住民の皆さんの安心・安全を守るため、団員同士の連携と絆を深め、今後の消防団活動を行っていきます。

井栗大崎方面隊長 長橋 和弘

消防団再編

大島方面隊



令和二年の四月の消防団再編により三条方面隊から分割統合され大島方面隊となりました。

私たちの活動地域は大島中学校区になります。

一分団四部、総勢五十六名ではありますが、消火活動のみならず防災、減災活動に日々訓練、予防活動に少数精鋭で励みます。

最後に、昨今の異常気象等で発生する災害や有事の際には、地域住民の皆様と連携をとりながら活動出来る様、御理解と御協力をお願い申し上げます。

大島方面隊長 西方 壮一



栄方面隊



栄方面隊では、令和二年四月の消防団再編統合にて、七分団体制から三分団体制になり消防団活動を始めていますが、コロナ禍のため、計画した半分程度しか活動が出来ていないのが現状です。

近年の異常気象による自然災害が各地で発生しています。消防団は様々な災害に対処できるように訓練、点検を行い、地域の安全、安心な街づくりに努めています。また、自然災害時には、消防団員の減少に伴い今まで以上に地元の自治会や自主防災組織とのつながりを強化する必要があると考えています。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

栄方面隊長 佐藤 義則

下田方面隊



下田地区は山間部が大部分を占めています。昨今の山菜採りや登山ブームにより入山者は増加傾向にあり、それに比例するかのように入山遭難事案が頻発しています。そこで下田方面隊では、本年度も山岳救助訓練を行いました。その後の捜索に生かされたいと思っています。

下田方面隊は令和二年の再編によって、七分団から三分団体制へと大きく変貌を遂げました。旧中学校区に一分団という編成となりましたが、基本的には何ら変わりません。「自らの地域は自らの手で守る」という郷土愛護の精神を基本に活動をしていきたいと思っておりますので、消防団へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

下田方面隊長 安井 悟

最新情報

防火チラシが出来上がりました

毎年、春の火災予防運動期間に、皆様のお宅に配布している防火チラシのイラストについて、市内全小学校等の四年生に考案をお願いしたところ、三百十二点の作品が寄せられました。

その中から、消防団長及び消防団予防部で選者を行った結果、大面小学校の内山夢良さんのイラストに決定いたしました。

とても素晴らしいイラストを考えていただき、ありがとうございます。このチラシを見やすい場所に貼り、火の用心に心掛けていただきたいと思います。



感謝状贈呈



最優秀賞
優秀賞

- 最優秀賞 大面小学校 内山 夢良さん
- 優秀賞 井栗小学校 外山 陽菜さん
- 優秀賞 裏館小学校 石川 瑚々さん

女性消防隊



三条市消防団女性消防隊は、結成して十一年が経ち現在十五名で活動をしています。これまでは、防火啓発やイベントでの広報が主な活動でしたが、今後の目標は「災害に強い隊員」を作ることです。そこで、新たな研修・訓練を発案しました。例えば、「野外炊飯研修」。これを行うことで災害時に最低限の備蓄で何が出来たのか、ほかに何が必要かを共有することができました。そのほか、水害対応総合防災訓練でエアートントの設営と応急救護訓練を行うなど、万が一の災害に備えて研修、訓練に励んでいます。また、市民の方を守るため、応急手当普及員有資格者が救命講習を行っています。

私たちは、市民の方を守りたいという仲間と共に活動をして、お互いを高め合う女性消防隊として活躍して行きます。

女性消防隊長 桑原 姿子

三条市消防団ラッパ隊は、各分団から選出された隊員十七名で活動しています。一昨年度までは栄方面隊から全隊員を選出していましたが、昨年度の消防団再編を機に三条・下田地区の方からも入隊をしていただきました。

もちろん、最初からうまく吹鳴はできないので通常の消防団活動とともに練習を行っています。

主な吹鳴活動は、三条市消防出初式で行われる市中行進パレードでの行進曲や、式典でのファンファーレ等が挙げられます。

昨年は、感染症拡大防止のため、吹鳴する機会はありませんでしたが、今年も、一月九日に行われた消防出初式で行進曲の吹鳴ができ、又、練習の成果を十分に発揮することができたことを大変うれしく思っています。

今後より良い吹鳴が行えるよう、練習を重ねてまいります。

ラッパ隊長 桑原 弘光

ラッパ隊



もしもキャンプで火災がおきたら… 備えあれば憂いなし！

お役立ち情報

突然ですが、みなさんはキャンプやバーベキューに消火器を持って行っていますか？

多くの人達は自宅に置きっぱなしだと思えますが、キャンプでは当たり前のように、焚火やガスバーナーなど“火”を扱っていて、万が一のことを考えると持っていくべきなのでは？と感じる今日この頃……。とはいえ、

消火器って持ち出して良いものなの？
どうやって持っていくの？
触れるじやうすらなんだかワライ。

と、思っている方も多いのではないのでしょうか？



キャンプ×消火器の必要性

キャンプで使われる、“火の元”

焚火・バーベキューグリル

コンロ・バーナー・ランタン

薪・炭・ガス、

そしてたばこや花火など…

強風で焚火の火の粉が飛んで燃え移ってしまったり…恐ろしい事故へと繋がる可能性が十分にあるという事は、**キャンプにも消火器は持っていく必要がある**といえます。

持ち運び方法・置き場所

持っていく時は、**原則立て置き**でお願いします。たとえ横になってしまっても、数時間とか一時的であれば問題ありません。

あとは、真夏の炎天下の車内など四十度を超えるような場所に放置する事は避けたほうがいいです。

また、置き場所としてベストなのは**消火器は火元から離れた目の付きやすい場所に置く**（テントの入り口など）のがいいといえます。

消火器の使用制限

消火器の有効期限などは無いですが、消火器（住宅用消火器を除く。）の場合、設計標準使用期限はおおむね**十年**となっています。おうちに眠っている消火器のラベルに設計標準使用期限があるのでチェックしてみてください！

また、エアソール式簡易消火具の使用期限はものによって異なりますので、容器の表示を御確認ください。



最近では、近場で密を避けられるレジャーとしてキャンプなどのアウトドアが注目されています。しかし、火を使うレジャーは同時に**危険もつきまとい**ます。

万が一に備えて、万全の準備をして楽しんでいただけたらと思います。

新入団員紹介



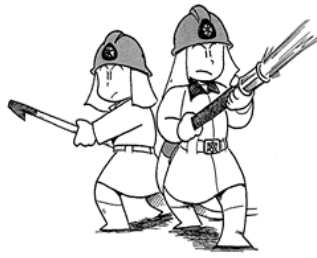
嵐南方面隊
本成寺分団第1部
金子 友愛

この度、消防団に正式入団しました。自分の住んでいる地域の安全を守るよう、精いっぱい頑張りますので宜しくお願いします。



井栗大崎方面隊
井栗分団第6部
長谷川 将也

今年度から消防団に入団しました。地元を守り、地域貢献出来るよう頑張っていきたいと思っております。宜しくお願いします。



嵐北方面隊
東分団第3部
星野 豊

令和三年度より入団しました星野です。

何分初めての事ばかりで、色々ご指導いただくこともあると存じますが、防災減災を胸に精一杯努めたいと思います。



大島方面隊
大島分団第3部
西丸 勝也

先輩方をお手本とし、新米ではありますが消防団員として一生懸命訓練や機材の点検を怠らずに頑張ろうと思っております。



三条市内に居住、または勤務・通学されている方で、十八才以上の方ならどこなでもお待ちしております。
ご興味のある方は、お住まいの地区の消防団員又は消防本部までお問い合わせください。

地域の方々との交流をするために入隊しました。

私たちが住むまちが、ずっと安全で安心して暮らせるまちになるよう、消防団活動に精励したいと思います。



栄方面隊
北分団第2部
伊東 拓馬

消防団に入って地域の防災に役立てるよう、先輩方から色々ご指導を受けて、地域の安全を守るために取り組んでいきます。



下田方面隊
長沢分団第5部
堀江 正明

編集後記

三条市消防団広報紙を本年から発行することになりました。記事にご協力いただきました市長様、消防長様、消防団長様、並びに六月より発足された学生消防隊を始めとし、女性消防隊、ラッパ隊、各方面隊の皆様、広報紙を担当された委員の皆様にご感謝を申し上げます。

消防団の地域割りが変わり、また消防団の訓練・活動をまとめましたので、皆様のお役に立てれば幸いです。地域の皆さまの生命・財産を守るため、消防団一同訓練を重ねて参りますので、自治会・地域の皆様方には引き続き消防団活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

編集委員長 西方 壯一

・ 広報紙編集委員 ・

- 高野 孝雄
- 須藤 隆夫
- 内山 元雄
- 後藤 元
- 長橋 和弘
- 安中 基裕
- 長谷川 智明
- 佐藤 義則
- 鈴木 勝利
- 安井 悟
- 近藤 博

順不同